

【留保2や留保3の画面で「メモリが足りません。」等のエラーが発生する場合の対処方法】

留保2(※1)や留保3(※2)のWSを開いた際に、以下のエラー等が表示される場合は、当該WSのデータに不整合が生じていることが原因の可能性があります。

※1 留保2：メニュー301の[5(1):前期繰越利益積立金額の確認(入力)]WSの
[4表と5表で連動する項目(留保2)の入力]ボタン

※2 留保3：メニュー301の[5(1):前期繰越利益積立金額の確認(入力)]WSの
[4表と5表で連動しない項目(留保3)の入力]ボタン
メニュー403の[留保3(4表と5表で別々に調整する項目)]

グループ通算申告システム(e-TAXグループ通算) ×
× メモリが足りません.

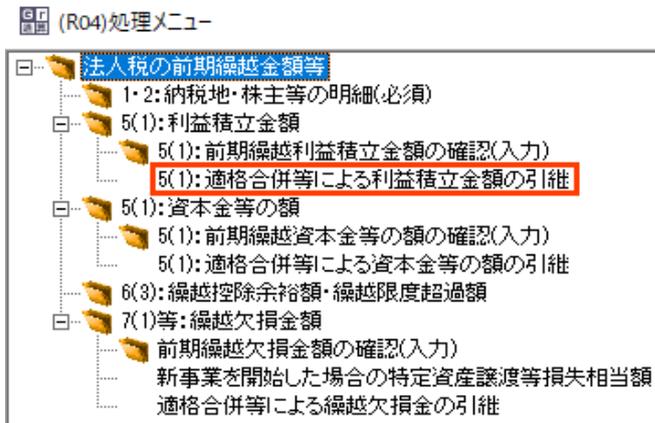
[OK]



当該エラーが発生した場合は、お手数ですが、以下のご対応をお願いいたします。

【ご対応方法】

- メニュー301の[5(1):適格合併等による利益積立金額の引継]WSを起動します。

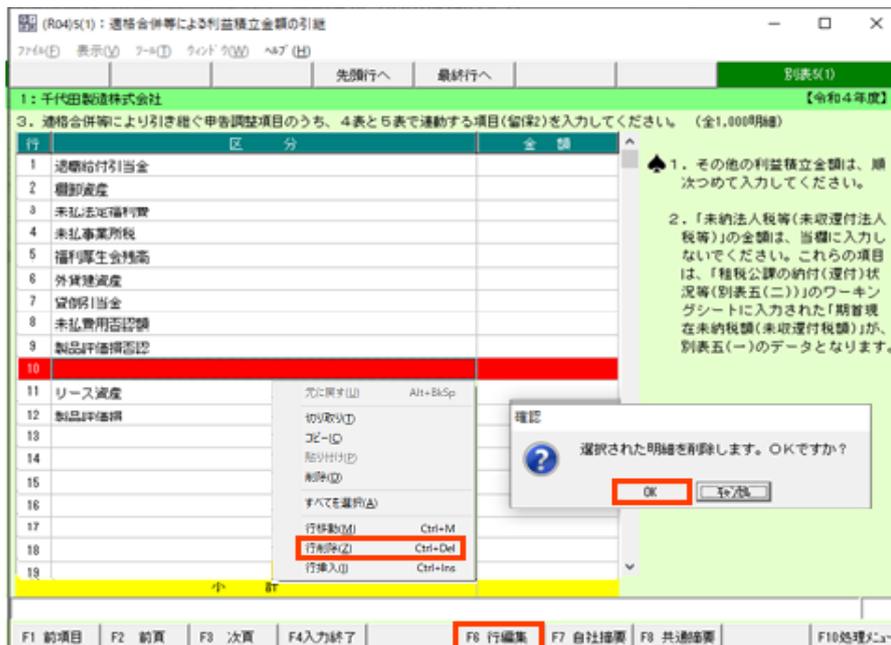


- [4表と5表で連動する項目(留保2)の入力]ボタンをクリックします。

14	関西文化学術研究都市に係る特別勘定認容額		
45	個別法人(前期繰越)の繰越限度超過額		
95	税効果会計の調整額の入力		
	上記以外の	4表と5表で連動する項目(留保2)の入力	
96	申告調整額	4表と5表で連動しない項目(留保3)の入力	
	差引合計額		31

- データに不整合が発生している場合、以下の10行目のように空白行が表示されます。空白行がある場合は、空白行以降のデータが正しく表示されなくなります。
※空白行が表示されない場合は、以下の10へお進みください。

4. データを修正するためには、不整合が発生している空白行以降を削除します。
- (1) 空白行の10行目を選択し、[F6 行編集]ボタンをクリックして[行削除]を選択します。
- (2) 削除の確認メッセージの[OK]ボタンをクリックし、当該行を削除します。



- (3) 削除した空白行以降の行も同様に削除します。

※後ほど削除した区分名を再入力いただくため、削除前に順番に合わせて区分名をメモしてください。



5. [F4入力終了]ボタンをクリックし画面を閉じます。
6. 上記1の[5(1):適格合併等による利益積立金額の引継]WSも[F4入力終了]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

7. メニュー301を閉じてメイン画面に戻ります。
8. 再度、上記1の[5(1):適格合併等による利益積立金額の引継]WSを開いて、上記2の[4表と5表で連動する項目(留保2)の入力]ボタンをクリックします。
9. お手数ですが、上記4(3)で削除した区分名を、メモいただいた順番にご入力し直してください。
10. 同様に、上記1のメニュー301の[5(1):適格合併等による利益積立金額の引継]WSを起動し、[4表と5表で連動しない項目(留保3)の入力]ボタンについても、上記3～9の処理を行ってください。

14	関西文化学術研究都市に係る特別勘定認容額		
15	個別事業に係る特別勘定組合員等調整額		
95	税効果会計の調整額の入力		
96	上記以外の 申告調整額	4表と5表で連動する項目(留保2)の入力 4表と5表で連動しない項目(留保3)の入力	
差引合計額		31	

11. エラーが発生した留保2や留保3の画面を開き、エラーが解消されていることをご確認ください。

以上